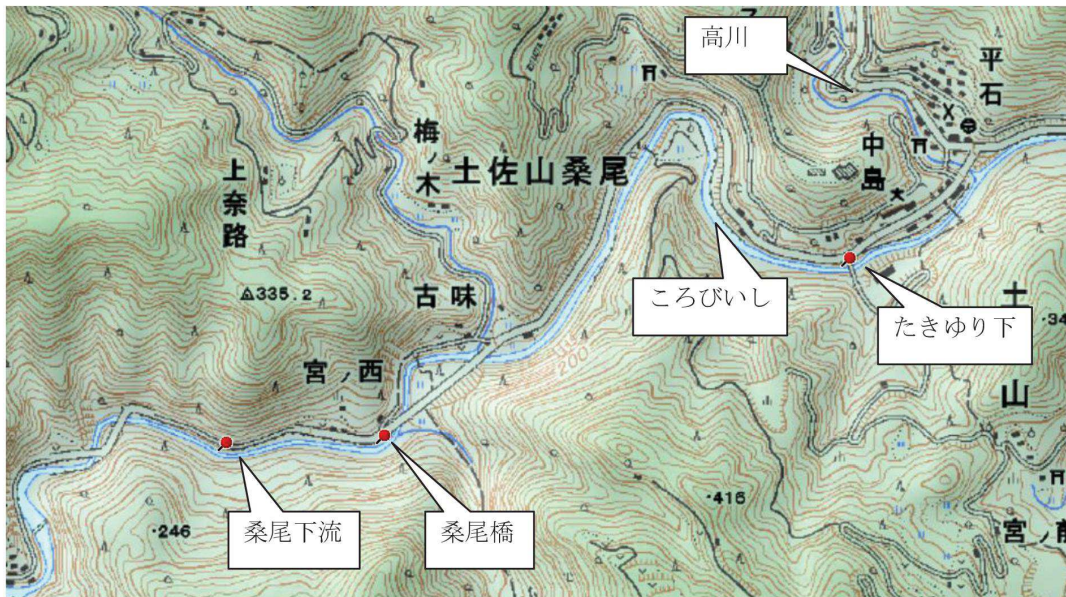


鏡川 放流アユへい死状況調査

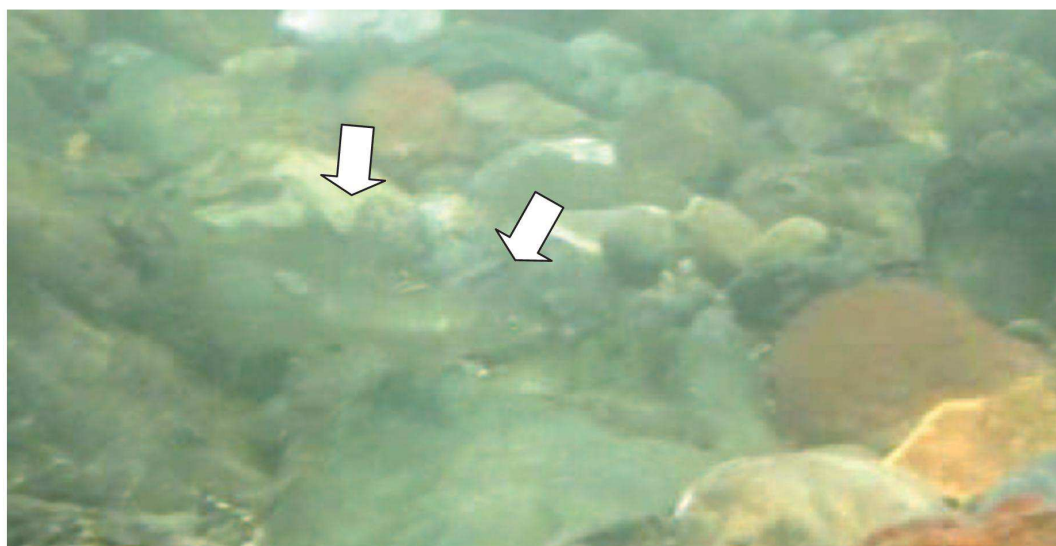
平成 26 年 7 月 12 日

調査者 岡部正也・石川徹（内水面漁業センター） 片岡専務（鏡川漁協）



考察

・7月10日に四国沖を通過した台風8号に伴い大幅な増水があったことから、冷水病被害の拡大が懸念されたが、今回の調査では新たなへい死魚は認められず、体側の穴あき、アゴ欠損などの異常を示す個体の割合は減少する傾向が見られた。また、調査したいずれの地点においても活発に遊泳する中～大型の個体を確認されたことから、アユの定着は順調に回復しつつあると見られる。



瀬について活発に遊泳するアユ（桑尾橋上流側の瀬）推定体重 60g